

平成28年度事業報告書

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日

本会が介護を必要とする高齢者や障害を抱える方が、住み慣れた地域で在宅生活を維持できるよう介護保険事業等の在宅サービスを提供することを地域福祉推進の中心とし、同時に安定した経営基盤確立のための財源確保に向けた活動を続け17年が経過いたしました。

本年度におきましても、介護保険制度改定の大きな流れや利用者の在宅から施設への住み替え、他事業所への利用者の分散等厳しい経営環境におかれ続け、経営は大きな赤字決算となりました。

一方で、江差町でも人口の流出や少子高齢化が急速に進行し、高齢の独居・夫婦世帯や認知症高齢者の増加、世帯規模の縮小、地域の相互扶助機能の低下が顕著になり、同時に公共交通機関の縮小や小売商店等の減少なども顕著になりました。

社会情勢や環境が変わることで、地域が求める福祉ニーズも変わり続け、これに対応するために江差町の「第4期江差町地域福祉計画」と連動する「第5期江差町地域福祉実践計画」の策定に向け継続した協議を進めてまいりました。

1. 会務報告

(1) 評議員会

第81回評議員会（平成27年度事業報告・収支決算報告）

平成28年 5月28日 江差町老人福祉センター

第82回評議員会（社会福祉法人改革に伴う定款変更）

平成29年 1月21日 江差町老人福祉センター

第83回評議員会（平成28年度補正予算、平成29年度事業計画・予算）

平成29年 3月25日 江差町老人福祉センター

(2) 理事会

第1回 平成28年 5月24日 江差町老人福祉センター

第2回 平成28年 11月25日 江差町老人福祉センター

第3回 平成29年 1月18日 江差町老人福祉センター

第4回 平成29年 3月23日 江差町老人福祉センター

(3) 役員協議会

第1回 平成28年 7月 8日 江差町老人福祉センター

(4) 監事会

第1回 平成28年 5月12日 江差町老人福祉センター

第2回 平成28年 8月24日 江差町老人福祉センター

第3回 平成29年 1月12日 江差町老人福祉センター

第4回 平成29年 2月28日 江差町老人福祉センター

(5) 地域福祉実践計画策定委員会

第1回 平成29年 1月25日 江差町老人福祉センター

第2回 平成29年 2月28日 江差町老人福祉センター

2. 介護保険・障がい者自立支援事業所の活動

介護保険制度事業所を3事業3事業所〔居宅介護支援事業（えさし社協居宅介護支援事業所）・訪問介護事業（えさし社協ヘルパーステーション）・通所介護事業（えさし社協デイサービス「まるやま」）〕、障がい者自立支援事業所を1事業1事業所（訪問介護事業所併設）とし、介護認定者、障がい者への在宅サービスを提供してまいりました。

サービスを提供するにあたっては、地域福祉を推進する立場を堅守し、いたずらに営利を追及するのではな

く、地域に根ざした社協としてこれまで培ってきた経験を生かし、利用者の「在宅で自立した生活を続けたい」との気持ちを大切に、事業所間の連携を密にしたサービスの提供に努めてまいりましたが、江差町内には施設サービスや在宅サービスを提供する介護保険事業所が多く、利用者が分散する傾向が顕著となりました。

更に、認定を受けると施設入所を希望する利用者も多いことや制度の改定により要介護からサービスが定額制の要支援へと介護度が変更となる利用者が多くなり、重ねて報酬改定によるサービス提供単価の引き下げなど極めて厳しい経営環境に置かれ続けています。

また、非常勤（パート）職員の確保についても難しく、募集（ハローワーク、新聞折り込みチラシ）を出しても全く問合せがなかったり、問合せだけで就業に結びつかない状況が続いています。

(1) 居宅介護支援事業所 えさし社協居宅介護支援事業所

ケアマネジャー 3名

車輛 3台（普通車 2台・軽自動車 1台）

利用者の福祉ニーズの把握、地域、行政、医療機関、各サービス提供事業所などと連携を図りながら、個別の生活支援サービス体制を図るため、ご本人の意思を尊重した介護計画（ケアプラン）を作成しながら、ご本人やそのご家族に対し情報の提供や相談にも迅速に対応し、また、要支援認定者の予防介護計画作成に積極的に取り組んでまいりました。

要介護度別利用者数の推移

(単位：人)

要介護度別	平成26年度末		平成27年度末		平成28年度末	
要 支 援	20	21.7%	26	26.0%	39	38.6%
要 介 護 1	26	28.3%	32	32.0%	19	18.8%
要 介 護 2	25	27.2%	19	19.0%	20	19.8%
要 介 護 3	10	10.9%	14	14.0%	15	14.8%
要 介 護 4	8	8.7%	6	6.0%	5	5.0%
要 介 護 5	3	3.2%	3	3.0%	3	3.0%
合 計	92	100.0%	100	100.0%	101	100.0%

要介護度別サービス提供回数の推移

(単位：回)

要介護度別	平成27年度		平成28年度		平成28年度－平成27年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
要 支 援	301	25.1	406	33.8	105	8.7
要 介 護 1	350	29.2	297	24.7	△53	△4.5
要 介 護 2	252	21.0	204	17.0	△48	△4.0
要 介 護 3	145	12.1	201	16.8	56	4.7
要 介 護 4	89	7.4	60	5.0	△29	△2.4
要 介 護 5	35	2.9	55	4.6	20	1.7
合 計	1,172	97.7	1,223	101.9	51	4.2

(2) 訪問介護事業所・障がい者居宅介護事業所

えさし社協ヘルパーステーション ヘルパー 6名

車輛 7台（ワゴン車 1台・軽自動車 4台・普通車 2台）

訪問介護事業所では、2つの制度事業を担い、長年培ってきたノウハウを活かしながら営利を追求するだけの過剰なサービスの提供を控え、行政、医療機関、各サービス提供事業所などと連携しながら、在宅で自立した生活を送るためのサービスの充実を図りながら提供に努めてまいりました。

本年度は、要支援認定者が微増となりましたが、介護認定者へのサービスが大幅に減少しています。

介護保険制度・障がい者自立支援制度・その他事業認定者別利用者数の推移

(単位：人)

要介護度別	平成26年度末		平成27年度末		平成28年度末	
要 支 援	10	25.0%	13	31.7%	16	41.0%
要 介 護 1	13	32.5%	12	29.3%	7	18.0%
要 介 護 2	11	27.5%	6	14.6%	7	18.0%

要介護3	1	2.5%	5	12.2%	8	20.5%
要介護4	3	7.5%	3	7.3%	0	0.0%
要介護5	2	5.0%	2	4.9%	1	2.5%
合 計	40	100.0%	41	100.0%	39	100.0%
障がい者居宅介護	4	-	3	-	4	-
自立認定者訪問介護	-	-	1	-	1	-
総 計	44	-	45	-	43	-

介護保険制度・障がい者自立支援制度・その他事業認定者別サービス提供回数の推移 (単位:回)

要介護度別	平成27年度		平成28年度		平成28年度-平成27年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
要支援	925	77.1	1,235	102.9	310	25.8
要介護1	1,725	143.7	632	52.7	△1,093	△91.1
要介護2	1,568	130.7	810	67.5	△758	△63.2
要介護3	416	34.7	1,187	98.9	771	64.3
要介護4	358	29.8	46	3.8	△312	△26.0
要介護5	163	13.6	136	11.3	△27	△2.2
合 計	5,155	429.6	4,046	337.1	△1,109	△92.4
障がい者居宅介護	240	20.0	834	69.5	※ -	※ -
自立認定者訪問介護	34	2.8	50	4.2	16	1.4
総 計	5,429	452.4	4,929	410.8	※ -	※ -

※平成28年度分より、障がい者居宅介護に通院介助（身体介護伴わない）を加えた。

※新たな要素を加えたことから、本年度計算しない項目がある。

介護保険事業サービス種類別提供回数の推移 (単位:回)

サービス種類別	平成27年度		平成28年度		平成28年度-平成27年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
身体介護	920	76.7	1,473	122.8	553	46.1
生活援助	2,212	184.3	1,131	94.3	△1,081	△90.0
身体・生活	742	61.8	310	25.8	△432	△36.0
通院等乗降介助	356	29.7	358	29.8	2	0.1
予防介護	925	77.1	1,235	102.9	310	25.8
合 計	5,155	429.6	4,507	375.6	△648	△54.0

障がい者自立支援サービス種類別提供回数の推移 (単位:回)

要介護度別	平成27年度		平成28年度		平成28年度-平成27年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
身体介護	127	10.6	171	14.3	44	3.7
通院介助(身体介護伴う)	51	4.2	82	6.8	31	2.6
通院介助(身体介護伴わない)	-	-	※355	29.6	※ -	※ -
家事援助	62	5.2	226	18.8	164	13.6
合 計	240	20.0	834	69.5	※ -	※ -

※平成28年度分より、通院介助（身体介護伴わない）を加えた。

※新たな要素を加えたことから、本年度計算しない項目がある。

- (3) 通所介護事業所 えさし社協デイサービス「まるやま」 在宅型総合福祉施設「まるやま」内開設
 利用定員 35名 小型バス1台(リフト付) ワゴン車3台(リフト付)
 デイサービス利用者のみならず、同居介護者の負担軽減も考え合わせながら過剰なサービスを避け、利用

者の自立する意欲を奪うことのないよう配慮しながらサービスの提供に努めてまいりました。

本事業では、体調などにより突発的に休まれる利用者、介護者の負担軽減のための短期施設入所（ショートステイ）の利用、施設入所も多く、安定した利用者確保が大きな課題となると同時に、本年度は大きな影響を受けませんでしたが、インフルエンザやノロ・ロタ等の感染性胃腸炎によりサービス利用が大きく減少することがあることから、感染力の強い疾病への対応強化を求められ続けています。

また、他事業所のデイサービスに利用者が分散する傾向が顕著となり、要介護利用者並びにサービス提供回数に減少傾向がみえることから、施設や設備の利用方法見直しによる更なる経費の削減や事業展開についての検討が必要となっております。

訪問介護事業所と同じく非常勤（パート）職員の確保については難しく、募集（ハローワーク、新聞折り込みチラシ）を出しても全く問合せがなかったり、問合せだけで就業に結びつかない状況が続いています。

要介護度別利用者数の推移

(単位：人)

要介護度別	平成26年度末		平成27年度末		平成28年度末	
要支援	14	18.0%	26	29.9%	25	30.1%
要介護1	20	25.6%	31	35.6%	17	20.5%
要介護2	26	33.3%	18	20.7%	21	25.3%
要介護3	11	14.1%	9	10.3%	15	18.1%
要介護4	5	6.4%	2	2.3%	3	3.6%
要介護5	2	2.6%	1	1.2%	2	2.4%
合計	78	100.0%	87	100.0%	83	100.0%

要介護度別サービス提供回数の推移

(単位：回)

要介護度別	平成27年度		平成28年度		平成28年度－平成27年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
要支援	1,288	107.3	1,412	117.7	124	10.3
要介護1	2,864	238.7	2,512	209.3	△352	△29.3
要介護2	1,854	154.5	1,770	147.5	△84	△7.0
要介護3	1,228	102.3	1,105	92.1	△123	△10.2
要介護4	304	25.4	297	24.7	△7	△0.6
要介護5	178	14.8	342	28.5	164	13.6
合計	7,716	643.0	7,438	619.8	△278	△23.2

3. 福祉移送サービス（通院等外出支援）

介護認定者や障がいを抱える方の通院。身体の状態により自宅のお風呂を利用できない方のための施設（在宅型総合福祉施設「まるやま」・老人福祉センター）特殊浴槽を利用しての入浴のための送迎等について、車椅子をご利用の方や認知症、障がい等により行動が困難な方々を中心にサービスに務めました。

平成28年度移送実績（福祉有償運送）

(単位：回)

移送内容	平成27年度	平成28年度	平成28年度－平成27年度
病院受診のための移送	542	649	107
施設を利用しての入浴のための移送	423	383	△40
入退院のための移送	—	—	—
転院のための移送	—	—	—
その他（買い物等のための移送）	1	5	4
合計	966	1,037	71

4. 福祉・ボランティア団体等への活動支援

町内で様々な活動続ける福祉・ボランティア団体の活性化を図ることを目的に、指定団体への運営費について助成し支援いたしました。

計 画 6 団体 江差町遺族会、江差町身体障がい者福祉協会、江差地区保護司会江差支部、江差町子どもと父母の会連合会、江差手話の会、育児サポートサークル「キティ」
 助成額 1 団体 2 万円以内 総額 12 万円以内
 実 績 上記 6 団体
 助成額 1 団体 2 万円 総額 12 万円

助 成 団 体 名	活 動 の 目 的
江差町身体障がい者福祉協会	身体障がい者の福祉向上を目指す当事者団体活動
江差町遺族会	戦没遺族の会
江差町子どもと父母の会連合会	町内の子どもの会活動の連携と親睦、連絡調整
育児サポートサークル「キティ」	子育て中の親子の支援と孤立防止
江差地区保護司会江差支部	犯罪者更正の援助
江差手話の会	手話の普及

財 源 愛情銀行：4 万円、共同募金配分金：8 万円

5. 学校教育ボランティア活動等への支援

学校教育の場で行われるボランティア活動や地域とのふれあい活動に対し助成を行うことで支援しましたが、申請は 2 校となっております。

計 画 対象学校数 小学校 3 校、中学校 2 校、高校 1 校、高等看護学院 1 校 計 7 校
 助 成 額 1 校 2 万円以内、総額 8 万円以内（4 校以内）
 実 績 助 成 額 1 校に対し各 2 万円、総額 4 万円

助 成 学 校 名	活 動 の 目 的
江差高等看護学院	ボランティアクラブ活動費への補填
	・福祉施設慰問 ・道立江差病院ロビーでのハンドベル演奏等
江差高等学校	地域とのふれあい活動
	・かもめ島まつり「千人パレード」参加浴衣等作成 ・上記中止のため、本年度は、高校体育祭、鷗陵祭で使用（継続的な利用と行事等への参加）

財 源 愛情銀行：2 万円、共同募金配分金：2 万円

6. ふれあいいいきサロン推進事業

独自財源により活動を継続する「かあちゃん食堂たまりば」（愛宕町）について、江差町内でのふれあいいいきサロンのモデルとして運営費支援を図りました。

計 画 助 成 額 5 万円
 実 績 助 成 額 5 万円
 財 源 愛 情 銀 行 5 万円

7. 福祉サービス利用者の権利擁護

(1) 苦情解決窓口の設置について

本会の行う在宅福祉サービス事業（介護保険・障がい者自立支援事業など）に係る利用者の苦情に適切に対応し、利用者の権利を守り、満足度を高めるため、第三者委員 2 名、苦情解決責任者 1 名、苦情受付担当者 2 名を選任し苦情に速やかに対応する体制を整えております。

平成 28 年度はサービス利用者やその家族から事業所に対する苦情申立てはありませんでしたが、利用者の内包する日常的なサービス内容等についての不満があると推測できることから、事業者として更なる利用者へのサービス内容の説明や職員体制、設備整備が求められております。今後も利用者の内包する問題を早期に把握し解決するよう努めてまいります。

(2) 地域権利擁護事業・成年後見制度の周知について

① 日常生活自立支援事業 道社協事業 北海道社会福祉協議会 道南地区地域福祉生活支援センター
(北海道社会福祉協議会桧山地区事務所内)

利用者は徐々に増えつつあり、事業が地域に周知されつつあると考えられることから生活支援員の増員が望まれ、社協として適任者の推薦を求められています。

平成28年度利用者数 14名

平成28年度末「生活支援員」登録者14名(うち実稼働12名)

利用者の内訳 認知症高齢者 11名、知的障がい者 1名、精神障がい者 2名

② 成年後見制度

所管が家庭裁判所となることから利用について把握できませんが、引続き周知に努めてまいります。

日常生活自立支援事業との併用や移行も今後の課題としてあり、また、市民後見人養成講習終了者が市民後見人として活動するために必要となる実施機関設置等の課題も生じています。

8. 福祉情報の提供と相談

(1) 情報の提供

広報誌「福祉だより」をはじめ、福祉関係事業の案内、学校に対しての情報提供等に努めてまいりました。

① 福祉だより 年3回発行 江差町広報紙折り込み

② 学校への情報提供 赤い羽根共同募金活動チラシ・ポスター

(2) 心配ごと相談

日常的に介護保険事業などの制度事業に関することや生活応急資金などの制度資金に関する相談があり職員が対応してまいりました。

相談件数 介護保険事業等に関すること(日常的にあるため件数は把握していない)

経済的な相談に関すること 5件(内、生活応急資金3件、生活福祉資金2件)

9. 江差町愛情銀行(在宅福祉基金)・共同募金活動の推進

町民皆様より愛情銀行や共同募金活動について金品の協力を頂きました。

また、この一部を財源として生活応急資金の貸付を行ないました。

(1) 江差町愛情銀行

本年度預託金 1,249,075円・・・・・・①

内、指定預託 1,169,075円(41件)

内、一般預託 80,000円(3件)

本年度払出金 1,423,598円・・・・・・②

内、災害義援金 1,189,075円(3件) 熊本地震、北海道大雨、糸魚川火災

内、社協助成事業 110,000円(5件) ふれあいいきいきサロン推進事業等

内、弔意ローソク購入 32,427円(1件) 169個、仏のし紙等

内、歳末たすけあい托鉢関係 20,854円(1件) 広報用チラシ、バス借り上げ

内、エコキャップ関係 56,252円(1件) 配送用袋購入、送料等

内、使用済切手関係 950円(1件) 送料

内、その他 14,040円(1件) 愛情銀行領収書

預金利息 146円・・・・・・③

前年度繰越金 1,491,849円・・・・・・④

生活応急資金貸付 80,000円・・・・・・⑤

生活応急資金償還 113,000円・・・・・・⑥

翌年度繰越金 1,350,472円 (④+①+③-②-⑤+⑥)

預託物品 本年度預託 使用済み切手、リングプル、エコキャップ、リサイクル用衣料等114件
(1物品につき1件の換算)

本年度払出 同上114件

(2) 江差町愛情銀行（在宅福祉基金） 曹洞宗第4教区青年会 歳末托鉢による預託

本年度預託金	302,439円・・・①
本年度払出金	0円・・・②
預金利息	60円・・・③
前年度繰越金	737,181円・・・④
翌年度繰越金	1,039,680円 (④+①+③-②)

(3) 共同募金活動

運動期間 平成28年10月1日～平成28年12月31日

街頭募金 1回・・・9月25日 第38回江差町産業祭り（開陽丸青少年センター）

広報 福祉だより、ポスター掲示

募金総額 1,003,653円（平成27年度実績：953,180円）

前年度比 50,473円 : 105.3%

募金活動方法別内訳

戸別募金訪問	572,583円（1,109世帯）
町内会	111,000円（8町内会：702世帯）
法人募金	64件 77,500円
街頭募金	1件 18,137円
学校募金	7校 67,722円
職域募金	22件 46,682円
募金箱設置協力店・団体	63件 110,029円

10. 生活応急資金・生活福祉資金等の貸付

(1) 生活応急資金

本会独自の貸付制度として、江差町に居住し、独立の生計を営み、他から資金融資を受けることが困難で、緊急な出費により生活困窮に陥る恐れのある生活保護世帯や生活保護申請世帯に対し、費用受給までの生活を維持するための資金として貸付を行いました。

平成28年度貸付 件数 3件 貸付総額 80,000円

財 源 本会「愛情銀行」

(2) 生活福祉資金（北海道社会福祉協議会事業）

厚生労働省の要綱に基づき他の貸付制度が利用できない低所得者や障がい者・高齢者世帯の経済的と自立と生活の安定を目指すための貸付制度として、本会では道社協より事務委託を受けその窓口として相談や申込について協力しております。

本年度は相談が2件ありましたが取り扱いはありませんでした。

(3) 特別生活資金（冬期生活資金：北海道社会福祉協議会事業）

福祉年金等を受給する高齢者や障がい者などの福祉向上を図るため、冬期の燃料費を確保する資金を必要とする世帯に対しての道社協の貸付制度の窓口として相談や申込について協力してまいりましたが、本年度の相談、取扱いはありませんでした。

11. 各種団体の活動

江差町町内会連合会、江差町老人クラブ連合会、江差町高齢者事業団の3団体について、専任職員1名を中心に事務・活動支援を図りました。

12. 社協の基盤整備

(1) 賛助会員・賛助会費

地域福祉推進の財源として各助成事業や情報提供に活用している賛助会費について、協力員体制がままならないことから地域内でも訪問出来ないところが増え、不公平感や不信感などがあることから戸別に訪問しての集金は行わないこととし、広報紙による広報活動を行いました。地域からの理解を得られたとは言えないものとなっています。

賛助会員・賛助会費の推移

年 度	賛 助 会 員		賛 助 会 費	
	会 員 数	前年度比	会 費 額	前 年 度 比
平成28年度	19件	1件	92,200円	53,200円
平成27年度	18件	12件	39,000円	24,000円
平成26年度	6件	△8件	15,000円	△17,000円
平成25年度	14件	—	32,000円	—
平成11年度	1,287件	—	1,615,500円	—

(2) 設備整備

介護保険事業所の収入をもって、事業活動が滞ることのないよう、設備整備・車両修繕等に努めました。

1.3. 第5期江差町地域福祉実践計画の策定へ向けた活動

本年度は「江差町地域福祉実践計画策定委員会」を設置し、第4期江差町地域福祉計画（江差町）と連動した第5期地域福祉実践計画の策定を進めました。

ふたつの計画は連動する必要があることから、第5期江差町地域福祉実践計画の策定終了は、第4期江差町地域福祉計画の策定終了を待ち平成29年度にずれ込んでいます。

また、この計画を推進するため、平成29年4月より新たに職員1名を配置することで江差町と協議いたしました。

① 計画の期間 平成29年4月～平成33年3月（5年間）

② 江差町地域福祉実践計画策定委員会

策 定 委 員 15名（本会理事8名、監事2名、評議員3名、外部委員2名）

策定委員会の開催 2回（開催月日は会務報告に記載）

1.4. 役職員研修並びに会議等への参加

本会活動の推進ため役職員の研修を進めてまいりました。また、ここに記載する以外にも各種関係会議・研修会等への出席に努めました。

- | | | | |
|---------------------------------|-------|---------|--------------------------|
| ① 平成28年度檜山管内社協会長・事務局長会議3回 | 役職員2名 | 江差町（3回） | |
| | | | 平成28年6月、平成28年10月、平成29年3月 |
| ② キャラバンメイトの集い | 職員1名 | 江差町 | 平成28年 5月 |
| ③ 平成28年度道社協地域部会幹事会、評議員会 | 役員1名 | 札幌市 | 平成28年 5月 |
| ④ 市民後見人の集い | 役職員2名 | 江差町 | 平成28年 5月 |
| ⑤ 平成28年度檜山地方共同募金委員会理事会 | 役職員2名 | 江差町 | 平成28年 6月 |
| ⑥ 平成28年度檜山管内町社協連絡協議会役員会 | 役職員2名 | 江差町 | 平成28年 6月 |
| ⑦ 平成28年度第43回老人スポーツ大会・演芸大会 | 役職員5名 | 江差町 | 平成28年 6月 |
| ⑧ 平成28年度全道市町村社協会長・事務局長会議 | 役職員2名 | 札幌市 | 平成28年 6月 |
| ⑨ 平成28年度全道市町村社協会長会総会 | 役員1名 | 札幌市 | 平成28年 6月 |
| ⑩ 地域支え合い講演会・意見交換会 | 役職員2名 | 江差町 | 平成28年 6月 |
| ⑪ 平成28年度全道ホームヘルプサービス研究大会 | 職員1名 | 江差町 | 平成28年 7月 |
| ⑫ 見守りチーム江差代表者会議 | 職員1名 | 江差町 | 平成28年 7月 |
| ⑬ 平成28年度認知症講演会 | 役員1名 | 江差町 | 平成28年 8月 |
| ⑭ 平成28年度介護保険事業者、障害福祉サービス事業者集団指導 | 職員8名 | 江差町 | 平成28年 8月 |

⑮	平成28年度北海道高齢者虐待防止推進研修会基礎編	職員	2名	札幌市	平成28年 8月
⑯	平成28年度北海道高齢者虐待防止推進研修会在宅編	職員	1名	札幌市	平成28年 9月
⑰	第66回北海道社会福祉大会	役員	1名	札幌市	平成28年 9月
⑱	北海道ホームヘルプサービス協議会渡島檜山地区連絡会議 渡島・檜山地区資質向上研修会	職員	2名	北斗市	平成28年10月
⑲	平成28年度地域福祉生活支援センター生活支援員研修会	役職員	2名	江差町	平成28年10月
⑳	檜山管内ボランティア活動研究集会	役職員	5名	今金町	平成28年10月
㉑	江差町地域ケア推進会議（コミュニティ会議）	職員	2名	江差町	平成28年11月
㉒	平成28年度法テラス函館地方協議会江差ブロック	職員	1名	江差町	平成28年11月
㉓	道社協権利擁護に関する情報交換	職員	1名	江差町	平成28年11月
㉔	平成28年度地域の絆と支え合い活動渡島・檜山推進セミナー	役職員	2名	七飯町	平成28年11月
㉕	江差町町内会研修大会	役職員	3名	江差町	平成28年12月
㉖	道社協平成28年度評議員会（第144回）	役員	1名	札幌市	平成28年12月
㉗	道社協檜山南部での権利擁護に係る説明会	職員	1名	江差町	平成28年12月
㉘	江差町地域福祉計画策定委員会	役職員	2名	江差町（4回）	平成28年12月、平成29年1月、平成29年2月、平成29年3月
㉙	江差町地域ケア推進会議（コミュニティ会議）	職員	2名	江差町	平成29年 2月
㉚	江差町公共交通会議	職員	1名	江差町	平成29年 2月
㉛	道社協平成28年度評議員会（第145回）	役員	1名	札幌市	平成29年 3月
㉜	生活支援体制整備事業協議体設置に係る研修会	職員	2名	江差町	平成29年 3月
㉝	道社協平成28年度評議員会（第146回）	役員	1名	札幌市	平成29年 3月
㉞	地域の要支援者についての情報提供と協議	職員	2名	江差町	平成29年 3月

15. その他

（1）福祉機器・テントの貸し出し

車イス（ベッドの貸し出しについては、感染症予防のための消毒が難しいことから貸し出しを中止しています）を一時的に必要な方に貸し出してまいりました。また、共同募金配分金を受けながら整備した行事用テントを江差町、商工会、団体等に貸し出しました。

平成28年度の「かもめ島まつり」

（2）弔意ローソクの配布

江差町民で亡くなられた方への弔意を表すため、江差町役場窓口に置き配布していただきました。

（3）収集活動の推進

使用済切手やリングプル等の収集について周知を図り、関係団体の協力を努めました。

回収品目	協力先団体名	
使用済切手	社団法人日本キリスト教海外医療協力会	発展途上国への医療協力
リングプル	かあちゃん食堂たまりば	福祉団体等への車イス寄贈
リサイクル用衣料品等	NPO 法人南部檜山あゆみ共同作業所	ウエス加工
エコキャップ	NPO 法人エコキャップ推進協会	世界の子供へワクチン寄贈
ベルマーク	江差小学校・南が丘小学校	学校備品等整備
書き損じハガキ	空飛ぶ車イス活動	発展途上国へリサイクル車イスの寄贈

※ 使用済プリペイドカードについては、収集体が確認できなくなったため中止いたしました。

